

ある日、「選挙カーの運転手のバイトをしてくれんか?と社長に言われました。「どこの政党の?」と聞いたら、やっぱり自民党。即座に「自民党は嘔吐きばかりだから嫌です」と言っているのにしつこい。

自民党を妄信する人達

社長はいい人なのですが、この手の話になると人が変わって、自民党を妄信しているところだけは好きになれないんですよね。社長曰く「自民党にとって今が一番大事な時、即ち日本という国にとって1番大事な時、日本人として自民党に選挙協力するのは当然だろ」との事。「私はそうは思いません、社長は高市さんが総理大臣になれば日本は良くなると言っていました、何か良い方向に変わる兆しがありますか?総理就任後、直ぐに困窮する国民の為に物価高対策をすると行ってたのに何もしてないですよ。そして国民を無視しているかのような解散総選挙、これで国民の暮らしが良くなる可能性があるんですか?」と言い返したら、「ある。自民党が単独過半数を取れば絶対に日本は変わる」と言う社長。「じゃあ何で自公連立政権の時に困窮している国民の為になるような政策をしなかったんですかね?今年で戦後81年、その殆どの期間で政権与党をしてきた自民党、社長が言うように今の世の中はおかしいというなら自民党の政策が悪政だったという事でしょ?私には理解できないんですよ」とか言い返した。

重鎮を落選させたら恥?

社長曰く、「鈴木俊一さんは自民党の幹事長だぞ、その鈴木さんを落選させたら岩手県民の名折れだろ」とか言い出した。これにも「いやいや、落選させたら名折れって、意味不明っすね。鈴木俊一の人柄や主張している政策、公約を聞いて有権者が投票するかどうかだけの話なのに落選させたらとか言う方がどうかしてる。私はそういう地元の大家だからみたいな考え方が大嫌いなんです。その封建的な考え方で予算を分捕ってきたというような今までのやり方が歪な社会を作ってしまったんですよ。解散総選挙になるとなった途端に自民党も消費税減税とか言い出しましたが、高市氏が総理になったら消費税減税すると言っていたのに自民党内で反対があったと言って何もしなかった。それが選挙になったら期限付き消費税減税を検討すると言い出した。自民党が今まで検討すると言って実行に移した事は無い。検討だけはしました、でも党内で意見が纏まらないので無理ですと言うのが自民党の常套手段、どこまでも国民をバカにし続けているのに支持や協力なんてできません」と言い返した。

大嘘ばかりの政治屋たち

再び社長曰く、「じゃあ小川君は自民党以外を応援してんのか?自民党以外に日本の政権を任せられると思ってんのか?」と言う。これにも「私には支持政党なんかありません。そもそも政治家(政治屋)という連中が大嫌いなんで、自分の言った事に責任を持たず、平気で大嘘(公約)ばかり言うのに信用できる訳ないでしょ。とにかく自民党は調子に乗りすぎ、また下野して悪夢の〇〇政権とか言ってくればいいですよ。自民党以外が政権を担うのがいい、長期政権とか一党独裁の時代は終わって欲しい。そうすれば少しは国民の事を真摯に考えるかもしれないし良い国になるかもしれないっすからね」と言い返したら、激昂?したと申しますか、意地になってしまった社長(笑)。私からしたら意地になるような話ではないんですけどね。今の日本、こんな国に誰がした?それは自民党です。だから自民党は嫌いです。「そうか小川くんは自民党が嫌いなのか、それじゃあ運転手は頼めんな」で終わる話だと思いますがね。そんなこんなで、選挙カーの運転手は引き受けませんでした。

(岩手県大槌町 小川 孝幸)